

第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン 基本的方向性の取組一覧（知事部局・警察本部）

資料5

【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上

取組	主な施策	令和5年度(2023年度)の取組内容・成果	部局	担当課
2 地域の教育力の向上	くまもと子育て応援プロジェクトの開催など、子育て親子の交流の場の提供	○ 例年体験イベント等を開催しており、今年度は12月12日にハイブリッド形式(YouTubeオンライン配信)で開催し、会場では親子10組が参加した。 ○ 子ども未来課、社会教育課が取り組む子育て関連事業の紹介やくまモンによるオープニング、県内で活躍している子育て中のタレントによるトークショーや育児相談等を実施した。また、3月末までアーカイブ配信を実施した。	健康福祉部	子ども未来課
	子育てを応援する事業所等の登録募集の実施	○ 子育てを応援する企業、店舗等を「子育て応援の店」として募集・登録し、その活動を広報、支援した。(登録件数は、令和6年4月末現在で延べ3,531件)	健康福祉部	子ども未来課
		○ 子育て従業員を応援する事業所等(子育て従業員応援団)の登録募集を行い、その登録数を前年度より増加させた。(R5登録数 1社、合計1,254社 R6.3.31現在)	商工労働部	労働雇用創生課
	被虐待児童とその家族への総合的な支援	○ 市町村のこども家庭センター設置に向けた支援を行うとともに、「市町村一児童家庭支援センター児童相談所」の連携による三層構造の児童相談体制を強化、児童虐待の未然防止と早期対応に取り組んだ。	健康福祉部	子ども家庭福祉課
3 就学前教育の充実と小学校以降の教育との連携強化	「放課後子供教室」の実施と「放課後児童クラブ」との連携	○ 「放課後子ども総合プラン」について理解を深めるとともに、配慮を要する子どもや保護者に対するよりよいコミュニケーション方法を学ぶことにより、関係者の資質向上を目的とした研修会を開催した。	健康福祉部	子ども未来課

【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり

取組	主な施策	令和5年度(2023年度)の取組内容・成果	部局	担当課
5 いじめへの対応	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの学校や教育事務所等への配置による学校支援体制の充実	○ いじめなどの課題を抱える私学生徒及び学校を支援するため、スクールソーシャルワーカーを派遣(支援実施人数200人、支援件数 延べ1,332件)〔再掲:取組6〕 ○ 平成27年度からは、各学校毎に担当のSSWを派遣する担当制を導入。〔再掲:取組6〕 ○ いじめなどの課題を抱える私学生徒を支援するため、スクールカウンセラーを配置する学校へ経常費補助を行った。(スクールカウンセラー配置校:21校)〔再掲:取組6〕	総務部	私学振興課
	・「性に関する指導に係る講演会」や「思春期保健教育講演会」等の実施	○ 熊本県内の学校等において、肥後っ子サポート教室を約400回(非行防止教室約280回、薬物乱用防止教室約100回、保護者教室25回)実施した。 ○ 熊本県学校・警察相互連絡制度に基づき、警察職員がいじめ等に対する助言を行うなど、学校等関係機関と連携して対応した。 ○ 少年相談電話「肥後っ子テレホン」等において、児童生徒、保護者等からのいじめに関する相談約60件に対応した。	警察本部	生活安全企画課
		○ 熊本県内の小学校、中学校及び高校の生徒、保護者、教職員等に対するサイバー犯罪被害防止講話を約190回実施した。 ○ サイバー防犯ボランティアと連携し、熊本県内の中学校及び高校の生徒、教職員に対するSNSの危険性等に関する講話を3回実施した。	警察本部	サイバー犯罪対策課
6 不登校への対応	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの学校や教育事務所等への配置による学校支援体制の充実	○ 不登校の課題を抱える私学生徒及び学校を支援するため、スクールソーシャルワーカーを派遣(支援実施人数200人、支援件数 延べ1,332件)〔再掲:取組5〕 ○ 平成27年度からは、各学校毎に担当のSSWを派遣する担当制を導入。〔再掲:取組5〕 ○ 不登校の課題を抱える私学生徒を支援するため、スクールカウンセラーを配置する学校へ経常費補助を行った。(スクールカウンセラー配置校:21校)〔再掲:取組5〕	総務部	私学振興課

取組	主な施策	令和5年度(2023年度)の取組内容・成果	部局	担当課
7 貧困の連鎖を教育で断つ		○ 高校生等の保護者等が熊本県内在住の生業扶助受給世帯や住民税所得割非課税世帯、家計急変世帯(住民税所得割非課税相当世帯)に対して、授業料以外の教育費負担の軽減を目的として「奨学のための給付金」を支給した。(3,110人、約3億3316万円)	総務部	私学振興課
	・経済的理由により就学が困難な生徒の授業料等を減免する私立高校に対する補助 ・育英資金の貸付、母子父子寡婦福祉資金の貸付、国の「奨学のための給付金」の給付	○ 県内の私立高等学校及び専修学校高等課程に入学する生徒で、生活保護を受給する生徒に対する入学金の負担の軽減を図るため、入学金減免を行う県内の私立高等学校を設置する学校法人及び私立専修学校高等課程を設置する学校設置者に対し、補助金を交付。(対象校9校(20人)、支給総額1,262,000円) ○ 国の事業(高等学校等就学支援金)に家計急変制度が創設されたことに伴い、授業料減免の制度を廃止(実績なし)。 ○ 要件に合致する生徒がいなくなったため、被災した生徒に係る授業料等の減免制度を廃止。	総務部	私学振興課
		○ 私立の高等学校、専修学校高等課程等に在籍する生徒に対し、就学支援金を支給(15,714人、約45億円) ○ 令和2年度から新たに高等学校専攻科に在籍する生徒に対し、就学支援金を支給(204人、約5,000万円)	総務部	私学振興課
	「性に関する指導に係る講演会」や思春期保健教育講演会」等の実施	○ 高校生を対象に、生と性の大切さを理解し、若いうちから自分のライフプランに応じた健康管理を意識することを目的とした思春期保健教育講演会を実施した(20校)。また、県女性相談センターで思春期保健相談を実施した(52件)。 ○ 県内全ての高等学校に思春期相談窓口啓発カードを配布した。	健康福祉部	子ども未来課
	生活保護世帯・生活困窮世帯やひとり親家庭の子供等に対する学習支援	○ 生活保護及び生活困窮世帯の子どもに対して、塾形式及びSNSを活用した学習支援や家庭訪問による生活習慣・育成環境の改善に関する助言等の支援を行った。(令和5年度の事業参加者:327名) ○ ひとり親世帯等の子ども達に対し、学習の場・安らぎの居場所等を提供する地域の学習教室を県内各地で実施した。併せて、学習教室の開始前に悩み相談ができる子どもカフェや横の繋がりを意識した交流会の実施により、子どもたちの自立ならびに夢の実現を図れるよう支援した。	健康福祉部	社会福祉課 子ども家庭福祉課
	育英資金の貸付、母子父子寡婦福祉資金貸付、国の「奨学のための給付金」の給付	○ひとり親世帯等のこどもの就学に必要な修学資金や就学支度資金等の貸付を実施し経済的な自立を支援した。	健康福祉部	子ども家庭福祉課

【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

取組	主な施策	令和5年度(2023年度)の取組内容・成果	部局	担当課
9 豊かな心を育む教育の充実	・地域の伝統文化に触れ、体験する機会の提供	○ 県立劇場において文化事業を実施するとともに、国内外の多くの人から関心を持ってもらうために本県の伝統文化や伝統工芸に関するパンフレットを英語・韓国語・中国語(簡体字、繁体字)で作成・配布し、情報発信を行った。〔再掲:取組29〕	企画振興部	文化企画・世界遺産推進課

【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える

取組	主な施策	令和5年度(2023年度)の取組内容・成果	部局	担当課
12 特別支援教育の充実	特別支援学級担当指導力向上研修、通級指導教室担当者連絡会等、専門性向上のための研修を実施	○ 各校における校内委員会の実施や自主研修の実施といった特別支援教育体制の充実について、経常費補助を行った。(校内委員会実施校:19校)〔再掲:取組19〕	総務部	私学振興課
	・就労支援ネットワーク会議による教育・福祉・労働等の関係機関と連携した就労支援の強化	○ 障害者就業・生活支援センターを県内6箇所に設置し、障がい者の職業生活における自立を図るために、雇用、保健、福祉、教育等の地域の関係機関と連携し、就業面及び生活面における一体的支援を実施した。 【R5実績】・相談、支援件数:16,658件 ・一般事業所等への就職件数:291件	商工労働部	労働雇用創生課

【基本的方向性5】 キャリア教育の充実とグローバル人材の育成

取組	主な施策	令和5年度(2023年度)の取組内容・成果	部局	担当課
16 外国語教育、国際教育の充実	中高生を対象とした時習館構想の一つである「海外チャレンジ塾」の実施	○ 将来の熊本を支えるグローバルな人材を育成するため、中高生を対象に海外進学に必要な英語能力向上やグローバル人材に求められる能力養成のための講座や海外進学・留学の相談助言などに取り組む「海外チャレンジ塾」を実施した。(海外進学コースで27人が受講し、うち3人が海外大学に進学予定。海外進学を目指す人材の育成を図るグローバル人材育成講座は40人が受講)。 ○「くまもとグローバルサポーター」として塾卒業生に県のグローバル未来留学フェアへの参加(5人)やロールモデル集制作への寄稿(15人)等への協力してもらい、卒業生による後輩育成支援という好循環を推進した[再掲19]	総務部	私学振興課
17 優れた才能や個性を伸ばす教育	・小中学校でオーケストラ、音楽劇、歌舞伎等の本物に触れる巡回公演を実施	○ 県立劇場主催の事業を実施した。 ・演奏家派遣アウトリーチ(12市町村40小学校等)	企画振興部	文化企画・世界遺産推進課
19 私立学校の振興(熊本時習館構想の推進)	中高生を対象とした時習館構想の一つである「海外チャレンジ塾」の実施	○ 将来の熊本を支えるグローバルな人材を育成するため、中高生を対象に海外進学に必要な英語能力向上やグローバル人材に求められる能力養成のための講座や海外進学・留学の相談助言などに取り組む「海外チャレンジ塾」を実施した。(海外進学コースで27人が受講し、うち3人が海外大学に進学予定。海外進学を目指す人材の育成を図るグローバル人材育成講座は40人が受講)。 ○「くまもとグローバルサポーター」として塾卒業生に県のグローバル未来留学フェアへの参加(5人)やロールモデル集制作への寄稿(15人)等への協力してもらい、卒業生による後輩育成支援という好循環を推進した[再掲16]	総務部	私学振興課
		選ばれる私学に向けて魅力を高めていくために、各校が自ら創意工夫して行う取組みを支援した。(10校計12事業)	総務部	私学振興課
	「私学の魅力アップ事業」等を活用した各私立中学・高等学校の特色ある教育活動等の支援	○ いじめや不登校などの課題を抱える私学生徒及び学校を支援するため、スクールソーシャルワーカーを派遣(支援実施人数200人、支援件数 延べ1332件)[再掲:取組5, 6] ○ 平成27年度からは、各学校毎に担当のSSWを派遣する担当制を導入。[再掲:取組5, 6] ○ 各校における校内委員会の実施や自主研修の実施といった特別支援教育体制の充実について、経常費補助を行った。(校内委員会実施校:19校)[再掲:取組12]	総務部	私学振興課
		○ 国の事業(高等学校等就学支援金)に家計急変制度が創設されたことに伴い、授業料減免の制度を廃止。(実績なし)[再掲:取組7] ○ 要件に合致する生徒がいなくなったため、被災した生徒に係る授業料等の減免制度を廃止。[再掲:取組7]	総務部	私学振興課

【基本的方向性7】 子供たちの学びを支える

取組	主な施策	令和5年度(2023年度)の取組内容・成果	部局	担当課
27 学校の防災・安全対策の推進	・防災教育に関する手引等を活用した授業及び実践的な避難訓練の実施	○ 学校における防災意識の醸成、防災訓練等の実施 ・マイタイムラインを活用したモデル授業を県内の小・中学校20校で行うとともに、教職員向け研修会を2回開催(集合・オンライン)。また、小学校低学年向け防災学習プログラム等を制作して教育センターホームページに掲載したほか、新中学1年生にマイタイムラインガイドブックを配付するなど、防災教育の実施を支援した。 ・新聞、ラジオ、SNS等の情報媒体を活用した広報を実施した。 ・災害時初動対応訓練(シェイクアウト訓練)の実施について周知した。	知事室	危機管理防災課
	・登下校防犯プランに基づく登下校時の安全の確保に向けた対策の充実	○ 熊本県内の各警察署管内において、未就学児、小学生、中学生及び高校生を対象とした交通安全教室(計約990回、約93,000人)や各種キャンペーン等を実施し、参加者の交通安全意識の高揚を図った。 ○ 通学路に信号機(6基)、横断歩道(24箇所)を設置するなど、交通環境を整備した。	警察本部	交通企画課
		○ 学校対象の不審者対応訓練を約200回実施した。 ○ 学校対象の防犯講話を約110回実施した。	警察本部	生活安全企画課
28 新型コロナウイルス感染症等への対応	防災教育に関する手引き等を活用した授業及び実践的な避難訓練の推進	○ 学校に対する消毒の購入、CO2モニターの設置等、感染症対策に係る費用の一部を補助した。(中学校5校、高校15校、専修学校4校:計24校)	総務部	私学振興課

【基本的方向性8】文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

取組	主な施策	令和5年度(2023年度)の取組内容・成果	部局	担当課
29 文化に親しむ環境づくり	・県立美術館等における展覧会の充実や、県ゆかりの所蔵品等を活用した体験活動の推進 ・地域の文化財を題材とした出前授業や体験活動、講座等の活用事業の推進	○ 県立劇場において文化事業を実施するとともに、国内外の多くの人から関心を持ってもらうために本県の伝統文化や伝統工芸に関するパンフレットを英語・韓国語・中国語(簡体字、繁体字)で作成・配布し、情報発信を行った。〔再掲:取組9〕 ○ 博物館ネットワークセンターで、県内の自然や文化に関する企画展を開催するとともに、県内各地で移動展示を行った。(企画展示5回、移動展示5回) ○ 博物館ネットワークセンターで、収蔵資料や地域の文化財を題材とした出前授業や自然観察会、講座を実施した。(出前授業15回、自然観察会10回、講座8回) ○ 博物館ネットワークセンターでは、収蔵資料データベースをインターネット上で公開した。	企画振興部	文化企画・世界遺産推進課
30 文化財の保存・活用	文化財の指定等による保護措置の推進	○ 鞠智城跡の特別史跡指定及び国営公園化の推進 ○ 県内外で鞠智城キャラクター「ころう君」を使ったキャラバン隊による広報活動や「ころう君」によるX(旧Twitter)やYouTube配信を行うことで、全国的知名度の向上を図った。令和5年度は動画配信サービスyoutubeを活用した広報活動に力を入れ、鞠智城やころう君をテーマにした動画配信を23回実施した。	土木部	都市計画課
32 競技スポーツの振興	大規模スポーツイベント開催及び誘致への協力・支援	3つの国際スポーツ大会開催の協力・支援に取り組み、スポーツに対する関心を高めた。 ○ 令和5年7月15日(土)にえがお健康スタジアムでラグビー日本代表国際試合(日本代表VSオールブラックスXV(フィフティーン)戦)を開催。(観戦者数:約20,000人) ○ 令和5年10月8日(日)にツール・ド・九州2023の熊本阿蘇ステージを開催。(観戦者数:約22,000人) ○ 令和5年11月14日(火)～19日(日)の6日間、熊本県立総合体育館でバドミントン国際大会「熊本マスターズジャパン」を開催。(観戦者数:約18,000人)	観光戦略部	観光企画課
33 学習機会と学習成果活用の充実	・県民カレッジ等における生涯学習プログラムの開発、学習機会の提供及び学習成果活用の仕組みづくり	○ 熊本博物館の県市連携展示室において、博物館ネットワークセンターが収蔵する資料の展示を行うとともに、「県民活動紹介コーナー」を設けて、県民の自然に関する活動やその成果を発信した。(年2回更新) ○ 生涯学習ボランティアのグループであるミュージアムパートナーズクラブが調査・研究・情報発信ができるよう活動支援を行った。(8団体)	企画振興部	文化企画・世界遺産推進課
	・県民カレッジ等における生涯学習プログラムの開発、学習機会の提供及び学習成果活用の仕組みづくり	○ 熊本県内の各警察署管内において、各種交通安全教室(約1,800回、約136,000人)を開催し、参加者の交通安全意識の高揚を図った。	警察本部	交通企画課

【基本的方向性9】災害からの復旧・復興

取組	主な施策	令和5年度(2023年度)の取組内容・成果	部局	担当課
34 災害からの復旧・復興	「熊本地震震災ミュージアム」の活用推進	○ 回廊型フィールドミュージアム(拠点施設:県内15か所、震災遺構:58か所)において、語り部や解説ガイドにより来訪者に対して平成28年熊本地震の教訓等を発信。 ○ 中核拠点施設「KIOKU」が令和5年7月15日にオープンし、令和6年3月末までに約45,000人の見学者が来訪。(そのうち県内小中高生は約2,000人)	観光戦略部	観光国際政策課
	「防災・減災教育旅行プログラム」の活用推進	○ 令和5年度(2023年度)のプログラム受講者数は、8,774人。 ○ 九州観光機構主催の7県合同素材説明会(東京、大阪、名古屋、広島)で、旅行会社及び学校関係者に対しプログラムの紹介を行った。 ○ 熊本県教育旅行受入促進協議会主催のプログラムセールス(首都圏、関西・中部圏、中国地区等)を実施した。	観光戦略部	観光振興課